

～安心して暮らせる地域社会をめざして～

KSK じんかれんニュース

NO. 66 2023年4月号

発行人 / 神奈川県障害者定期刊行物協会

〒222-0035 神奈川県横浜市港北区烏山町 1752 番地
障害者スポーツ文化センター横浜ホール 3 階
横浜市車椅子の会内

編集人 / NPO 法人じんかれん

(神奈川県精神保健福祉家族会連合会)

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷 2-5-2
神奈川県精神保健福祉センター内

TEL 045-821-8796 FAX 045-821-8469

E-mail: jinkaren@forest.ocn.ne.jp

URL: <https://jinkaren.net/>

「ルポ 死亡退院 ～精神医療・闇の実態～」をめぐって

NHK ETV 特集 2023年2月25日 23:00～24:00

【番組概要】

2月15日、東京都八王子市にある滝山病院を警察が搜索。患者への暴行の疑いで看護師が逮捕され、監督する東京都も調査に乗り出した。NHKは、内部告発による病院内の映像や音声記録、そして1498人の患者のリストを入手。さらにその家族、病院関係者などへの取材から、病院の実情と背景を調査した。浮かび上がってきたのは、社会の中で頼られる精神科病院の知られざる一面だった。1年に及ぶ調査報道ドキュメント。

被害者の代理人を務める相原啓介弁護士は17日に記者会見し、協力者から院内で撮影された動画などを得たと説明。被害にあった患者は20人前後いる可能性があるとして、「数人の心ない職員による偶発的な虐待事件とは思えず、病院全体に蔓延（まんえん）しているのではないかと疑いを持っている」と話した。

相原弁護士はさらに映像や音声を分析し、被害者の話なども合わせて検討。告発した4人以外の9人前後が同様の犯行に及んだ疑いがあるとして、警視庁の捜査の進展も見ながら、早ければ週明け以降にも追加の告発を行う予定という。

都などによると、私立の滝山病院は病床数288で、うち255床が精神科。外来は原則受け付けていない。

■「死亡退院率」 高い数字

滝山病院では、退院患者に占める「死亡による退院」の割合(死亡退院率)が高い数字を示している。厚生労働省は3年ごとに、精神病床患者の退院後の行き先を調査している。それによると、2020年の全国の死亡退院率は、退院後に行き先が不明な人も含めて約8.2%だった。

東京都は、1年のうち6月の1カ月間を抽出して調査している。都によると、滝山病院の死亡退院率は、19年が100%（退院7人 死亡7人）、20年が80%（同15人 同12人）、21年が64%（同14人 同9人）、22年が30%（同10人 同3人）だった。

相原弁護士は「人工透析もやっているのに亡くなる人もいると思うが、同様の病院に比べてこのような死亡退院率は考えられない」と指摘した。同病院の元職員の1人は取材に、「症状の

重い患者を積極的に受け入れており、死亡率が高くなる」と話す。

八王子市によると、18 年 4 月から 23 年 2 月の

間、同病院の入院患者のうち、18 人が同市から生活保護を受けていた。うち 4 人が現在も入院中で、10 人が死亡による退院だった。

《朝日新聞デジタル からの記事より》

【放映を視聴して】

日本ではなんと精神障害者の命と人権が軽んじられていることか。関係者は、「このような問題が起こるのは、必要悪、社会悪」と断じる。

- 半数以上が生活保護を受けている中で、心身の疲弊や経済的負担により家族が退院受け入れを拒否している。
- 他の精神科病院の合併症患者を滝山病院が受け入れている。
- 生活保護を担う行政が滝山病院を頼っている。
- 人口透析による治療が生存率を下げている。
- 患者不在で利害関係者同志が調整している。
- 立ち入り検査の際は、身体拘束具等を隠していた。
- 職員の 9 割が非常勤のアルバイトで、夜間は 49 人の患者を 3 人の職員が看ている。
- ネット上で「滝山病院に入院したら最後、死なないと退院できない」との書き込みなども多数存在する。



(三富)

【青木聖久氏（日本福祉大学教授）から】

NHK の E テレで、滝山病院、朝倉病院、神出病院等のことが放映されました。精神科病院に 35 年以上かかわっており、一定の光と影の部分を知っていたつもりでいる自分でさえ、テレビを観終えてから、しばらく動けなくなるぐらいでした。そのようななか、ぜひ、皆さんにお伝えしたいことがございます。それは、精神科医療に携わる人の多くが、当たり前の精神科医

療の在り方を考え、取り組んでいる、ということです。そのようなことを思っていたところ、愛媛で、精神科病院を廃院とし、診療所に生まれ変わり、地域の NPO 団体を支えている精神科医師の取り組みの記事を、共同通信の市川さんからいただきました。みなさんには、ぜひこのような実践についても、知っていただければと思います。《2023.3.1 名家連ニュースより》

【「みんなねっと」から】

3 月 9 日、衆議院第二議員会館で開催された「もうこれで最後にしよう！滝山病院事件の問題点の徹底追及を通して精神科医療体制の転換を目指す緊急キックオフ集会」—主催：精神医療の身体拘束を考える会にて、みんなねっとも後援団体となり、小幡事務局長が連帯のあいさつをおこないました。

「滝山病院のこの事件が従来の立入検査（東京都）では把握できなかったことの究明をし、立

入検査のあり方について厚生労働省が指導をおこなうこと。また、個別の事例ではなく、精神科病院全体に同じ働き掛けをおこなうこと。さらに、虐待の疑いがあったから、すなわち虐待通報があったからでなく、虐待の未然防止の点から外部から目が入る仕組みを作って欲しい」と要望し、集会後は厚生労働省に申入れをしました。

NHK NEWS WEB で集会の様子の動画と記事を視聴できます。

『神奈川精神医療人権センター 3 年目の歩み・つながりを広げるために』参加報告

2023 年 2 月 7 日 於 かながわ県民センター

神奈川精神医療人権センター (KP) は、安心してかかれる精神科医療・地域社会の実現を目指して、病院から独立した第三者機関として、神奈川県で精神科医療にかかっている方々の人権擁護活動を行っています。当センターの通称「KP(ケイピー)センター」は、「神奈川ピアセンター」の略称です。

KP は県内の精神科病院に入院する患者らの人権擁護に取り組む任意団体で、人権擁護活動草分

けの大阪精神医療人権センターをモデルに当事者、家族、医療関係者が集まって今から 3 年前の 2020 年に 16 人により設立されました。

この日は相談員、電話相談ボランティア、事務局(元ソーシャルワーカー)の 3 名により、KP の理念や活動状況、人権侵害の実例、主治医・看護師・ソーシャルワーカー・家族・当事者により結成される退院支援委員会の活動状況、日本の精神科医療の現状等について話されました。

KP は 4 つの理念を大切に活動しています。

- ① 声をきく・・・精神医療にかかる方々の立場に立った権利擁護活動を実践します。
- ② 扉をひらく・・・より精神科病院を開かれたものにする活動を行います。
- ③ 仲間(ピア)が支える・・・精神障害当事者をはじめ多くの仲間たち(ピア)が全力でサポートします。
- ④ 社会をかえる・・・安心してかかれる精神医療・地域社会の実現をめざします。より地域が共に生きる姿勢を作れるように。

アンケート集計



アンケート回収枚数	16 枚	研修会出席者数	26 名
参加された方のお立場			
家族	14 名	施設関係	0 名
当事者	1 名	医療関係	0 名
行政関係	0 名	その他	1 名
講演内容について			
良く分かった	12 名	少し分かった	4 名
あまり分からなかった	0 名	無回答	0 名
講演はこれからの生活に役立つと思いますか			
大変役に立つ	8 名	少し役に立つ	8 名
あまり役に立たない	0 名	無回答	0 名
講演時間について			
丁度良かった	11 名	短かった	3 名
長かった	1 名	無回答	1 名

感想・自由記載

- ・時間が短かったので、もっと詳しくお話や意見交換ができればと考える。
- ・色々勉強になりました。
- ・入院時の権利、電話などについての当事者家族の人権を尊重するように処遇改善や退院請求もできることを今まで知りませんでした。KP からの介入や弁護士さんの介入もできることがわかりました。
- ・「どこにいけばいいの」冊子の実物がなかったのは残念です。
- ・制度があっても運用に幅があるので、当事者の権利につながっていないのが現実。

精神障がいを持つ人が普通医療を受けられるようになって欲しい。患者を変えるのではなく、社会をかえていく。

- ・具体的な説明が有り、分かりやすかった。
- ・人権を守ることの重要性を再確認した。
- ・家族の体験意見をどんどん申し立て、問題を考えてもらえる方向にもっていきたいと思った。
- ・救急車を呼ぶ時、精神科に通っているということを先に言ってはいけない、こういう事態をもっと改善すべき。拘束されるのが恐いので入院させられない。
- ・精神障害者の人権、ここまで侵害されているその現状を垣間見ました。KP のお働きありがとうございます。
- ・障害者の権利を守るための KP の活動を少し知ることができよかった。今後もじんかれんと協力しあって活動できるといいなあと。

今後希望する講演内容、講師名 ・ 統合失調症 中村ユキ氏

- じんかれんへのご意見ご要望
- ・精神科患者の意見や体験を生かす場所やその他諸々が必要と思います。
 - ・精神障がい者の家族会は全国組織ですので、精神科特例の撤廃をはじめとする医療点数の問題など、さまざまな日本の問題点の改善改革の国への要望のとりまとめなど（氏家さんのいまこそ改革のチャンスといわれていることなど）を中心となって強力にすすめていく中心となって欲しい。



KP よりのお願いとお知らせ

困ったときはお電話ください。
相談内容を病院に伝えることはありません。秘密厳守いたします。

KP ができること

- ・テレホンカードを送ること
- ・電話で相談を聞くこと(来所、訪問も可)
- ・ご本人の希望を受けて面会に行くこと
- ・MSW (病院のソーシャルワーカー) と話すこと
- ・退院請求、処遇改善を出すサポート
- ・退院支援委員会への出席

【神奈川精神医療人権センター事務局】

電話：045-353-5711 (毎週月曜～金曜日 13時～16時)

メール：mail@kp-jinnkenn.org

住所：〒235-0023 横浜市磯子区森 3-14-3

第 5 回うつフェス <https://bit.ly/3NiRZCz>

うつ病患者の家族とその支援者を対象にした第 5 回うつフェスが、
2023 年 1 月 14 日 10:00~16:00 の長時間、Zoom オンラインにて開催されました。

今回の Zoom オンラインは、講師、支援者の話を一方的に聴くばかりでなく、講演の合間に、参加者が 6 名ぐらいのグループに分かれ自由に意見、感想を言えるブレイクアウトルーム方式で楽しく、有意義なオンラインでした。

うつ病は早期に発見して、適切な治療を受ければ、十分に回復が可能な病気です。しかし初期治療までに時間がかかると重症化し、長期化してしまいます。『うつ病家族サポートセンター』代表の川田陽子さんは 10 年前にうつ病に罹り、「うつ病地獄」に苦しんだが、ご主人の献身的な愛とサポートにより完治。今は夫婦ふたりで、うつ病患者を支援する家族・支援者をサポートする運動をしています。

うつ病家族サポートセンターの川田さんは、うつやメンタル疾患の人を「支える人」を支えたい！家族&支援者が視界がパッと開けて元気が出るようなセミナーを開催し、応援メッセージを送りたい！！そんな思いで一昨年からうつフェスを開催されています。

講師は、前回（2022 年 9 月 28 日）同様「うつ病家族サポートセンター」代表の川田陽子さんのご主人でうつ病相談専門カウンセラー・産業カウンセラーの川田泰輔さん、サポートキャリアコンサルタント渡部幸さん、コミュニケーションの専門家 桑野麻衣さんと矢野惣一さん、永瀬一代さん、と多数の支援者が講師となった参加者 50 名による～語り合う・分かり合う・支え合う～をサブタイトルとした中身の濃いオンラインでした。

うつ病の家族&支援者自身がうつ病にならないように、支える家族&支援者をサポートすることがとても大事なんです。そう！支える人は、「自分も支えられながら他者を支える」ということを大事にしてほしい！「レジリエンス」の視点があると、支える人を支えることができます！と感じています。

— レジリエンスとは、困難で脅威を与える状況にもかかわらず、うまく適応する過程や能力、および適応の結果のことで、精神的回復力とも訳される。—



《様々な意見・感想》

- ◇自分の人生なのに、他人の目を気にする必要ない。
- ◇共倒れにならないよう、自分の時間を持つ。 (散歩、家庭菜園、庭に出て太陽の光を浴びる)
- ◇出来なくなったことを嘆かず、出来ることを楽しむ。
- ◇良い言葉、美味しいもの、良い出逢い、良い場所などをメモとして書き留める。
- ◇うつ病に特効薬はない。色々な人の考え、立場があり、正解はない。一人ひとりが孤独を感じないことが大事。語り合い、わかり合い、支え合う。

うつ病家族サポートセンターよりメッセージ

～ 家族がうつ病になった悩みと苦しみ ～ 《現代表 川田陽子さんの夫 川田泰輔さんのコメント》

2002 年に妻である川田陽子がうつ病になりました。他の多くの方と同じで、はっきりした原因は思い当たりません。知らぬ間に動けなくなって、一日中毛布をかぶってソファに横になっている状態でした。最初は、繁華街のビルの中にあるメンタルクリニックを受診しましたが、ここの医師と相性が悪く、病状は悪化の一途をたどり、1 ヶ月ぐらいで家の中ですら歩けなくなるぐらい、病状が悪化しました。受診先をクリニックから総合病院の精神科に変えたのですが、最初の診察で言われたのが「重度のうつ病ですね。このまま入院することをおすすめします」というセリフでした。その日のうちに入院することは、精神科への入院に抵抗感があってできなかったのですが、結局、入院することになり、最初の入院が3ヶ月、次が1ヶ月、次が6ヶ月というふうに、入退院を繰り返してしまいました。このように再発を繰り返したことで、病状が悪化し、難治化してしまい、遷延化してしまいました。うつ病の治療をしている間には、自殺未遂があったり、病状が最悪の時期には閉鎖病棟への入院もあったりもしました。妻の場

合は、最初に受診したメンタルクリニックがダメで、初期治療の機会を逃してしまいました。最初からしっかりと精神科を受診していれば、こんなにも悪化させず長期化することもなかったのに、と今さらながら深く後悔しています。

～ あなたのお役に立てること ～

妻がうつ病になったばかりの頃は、妻を支える家族である私に、知識も経験もなく、ただただ慌てふためいていて、嵐の海に投げ出されたような感覚で、辛く苦しい現実に翻弄されていた気がします。あのときの私に、今の私と同じだけの知識と経験があれば、もっと適切に対処できて、妻に良い治療を受けさせることが出来たはずなので、自殺未遂も閉鎖病棟入院もなかったはず

です。今、あの頃の私と同じように、家族がうつ病になってしまって、知識も経験もなく、ただ戸惑って途方に暮れている。そんな昔の私と同じような状況に追い込まれている方の役に立ちたいと思って、このような活動をしています。

うつ病からの脱却



自分の居場所がはっきりと分かった!!

		その後の私が心がけたこと
◎嫌われたくない	◎嫌われてもいいじゃない	☆誰かに任せるのではなく自分で決断! ☆気分はいつもフラットに! ☆寝る前に1日の良かったこと探し! ☆自分軸で考えるよう心と会話を する!
◎何か言われたらどうしよう	◎何を言われても気にしない	
◎他人の目が怖い	◎他人にどう見られても構わない	
◎自分に自信がない	◎自分はこのままで良い	
◎自分の気持ちを伝えられない	◎伝えることはきっと伝えられる	
◎依存している	◎依存することは悪い事じゃない	
◎自分が好きじゃない	◎私だけは自分が大好きだ	

「教えて！ ドクター Q&A」

神奈川新聞 2023. 1. 25 掲載より

Q うつ病で休職中の家族がいますが、どのように接したらよいのでしょうか。

A ご家族がうつ病で休職中といってもいろいろなケースが考えられますが、ここでは一般的に夫婦と 3 歳の子どもが一人の 3 人家族で、ご主人がうつ病で休職中のケースを考えてみます。

奥様はパートで働いていましたが、ご主人が休職になり退職しています。ご主人は会社でミスがあり上司から叱責されて、うつ状態になり、奥様と一緒に精神科クリニックを受診し、休職の診断書が出て休職中です。主治医からはうつ病の診断で 1 ヶ月の休養、抗うつ剤と入眠剤の服用が指示されました。しばらくは自宅でのんびり過ごし、仕事のことは考えないこと、規則的な生活を心掛けること、散歩程度は行うよう言われました。奥様には受動的に接すること、励ましたり、無理はさせないこと、重大な結論は避けることなどが提案されました。休養と服薬により症状は徐々に改善しました。奥様もゆっくり休養できるように心掛け、子どもが父親と遊びたがる時も、なるべく負担が掛からないように遠ざけました。3 週間後にはだいぶ状態も良くなり、家族で近くのショッピングセンターまで買い物に行きましたが、翌日まだ疲れが残る状態でした。4 週間目の診察の時に主治医から、だいぶ良くなっているが、まだ復職には早いとして、1 ヶ月休職延長の診断書がでました。生活記録表をつけ、通勤訓練も行うこととしました。

2 か月目終了時には、生活も規則的になり、通勤訓練や図書館でも過ごせるようになり、復職可の診断書が出され、会社の産業医や人事部とも面談を行い復職となりました。

これはかなり治療がうまくいった例ですが、中にはなかなか良くなり、本人もイライラして家族に当たったり配偶者も疲れてうつになってしまうケースもあります。家族が心掛ける点をいくつか挙げてみます。まず、こころの病気であることを受け入れ、うつ病について正確に理解し、知識を持つこと。つらい気持ちを理解し受けとめ、非難・叱責はせず、良いところを褒め、服薬は規則的にさせゆっくり休める環境を作る。激励や無理な気分転換はしないこと。傾聴に心掛け、困ったことがあれば主治医と相談すること。自殺は決してしないと約束すること。長引く場合は、適度な距離を保ち、家族の気分転換も必要です。回復してきたら背中を押してあげることも必要です。無理をしないことが強調されていますが、主治医と相談し、ある程度回復したら頑張ってみることも必要と思われます。

今回答えていただいた先生

日本精神科神経科診療所協会会長 三木メンタルクリニック理事長
三木 和平 精神科医

2023 年度 NPO 法人じんかれん 定期総会のお知らせ

日 時 : 2023 年 5 月 19 日 (金) 13:00~16:00

場 所 : かながわ県民センター 3 階 301 会議室
横浜市神奈川区鶴屋町 2-4-2 横浜駅より徒歩 5 分

2023 年度 定期総会 13:00 ~

記念講演 定期総会后
「ピアサポーターについて」
講師 県精神保健福祉センター担当者(予定)



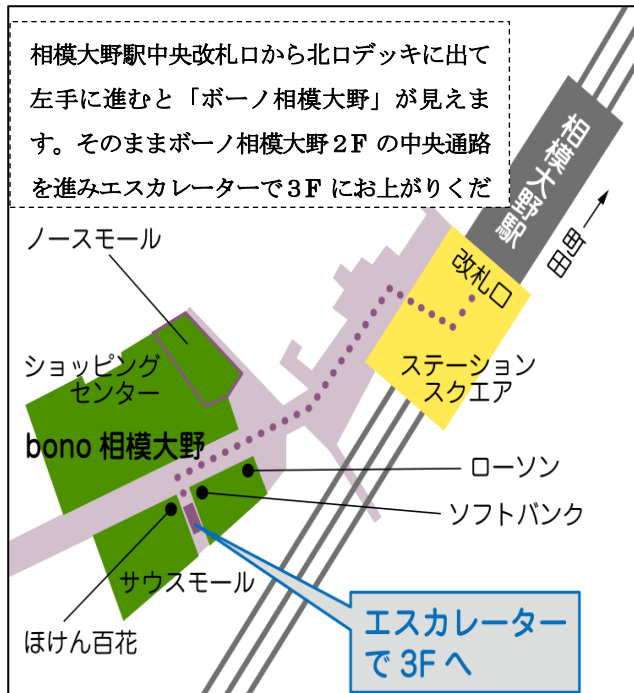
じんかれん家族相談のご案内

【家族電話相談】

- ◆研修を積んだ家族相談員による電話相談
毎週 水曜日 10 時～16 時 予約不要
※水曜日が祝日の場合でも大丈夫です。
☎ 045-821-8796
困っていること、悩んでいることなど
お話し下さい。

【面接相談】

- ◆精神保健福祉専門家による面接相談
毎月 1 回 第 3 火曜日 13 時～16 時 要予約
※第 3 火曜日が祝日の場合でも大丈夫です。
相談場所：相模原市南区 3-3-2
ボノ相模大野サウスモール 3 階
「ユニコムプラザさがみはら」
ミーティングルーム
予約電話：火・木曜日 10 時～16 時
☎ 045-821-8796
※相談料無料・相談内容は秘密厳守します。



【編集後記】先日パソコンに水を掛けてしまい、慌てて水をふき取り、電源をつけたまま、ドライヤーで乾かしました。そのあと、別のパソコンで、対処手順を確認したところ、大きな間違いでした。幸い事なきを得ましたが、ノートパソコンの水濡れの正しい対処手順は・・・ (三富)

○手順 1：何はともあれ電源を落とす 水が内部に入り込んだ状態で電源を入れてしまうとショートしてしまうおそれがあるため、しばらく電源を入れるのは避けましょう。

○手順 2：電源ケーブルを抜き、バッテリーも取り外す

バッテリーの外し方がわからない場合は、無理して分解しない。

- 電源が入っている状態であるなら、速やかに電源を切りバッテリーを外しましょう。作業途中のデータを保存してから電源を切るのが適切ですが、パソコンのショートの危険性を回避するため強制終了する方法がおすすめです。
- バッテリーを外すことで、大きなトラブルは回避できる可能性があります。基盤の故障につながることもあります。そのときは、修理業者に依頼するのが最善です。

○手順 3：表面の水分を軽く拭き取る

○手順 4：キーボード面を下にしてタオルをあてる

○手順 5：パソコン修理店に相談する

【水没・水濡れの際に絶対にしてはいけないこと】

- 通電する ○パソコンを分解する ○ゴシゴシと拭く ○ドライヤーの温風をあてる
(温風の熱によりキーボードなどのパーツが溶け、変形して使い物にならなくなってしまいます)

【水没・水濡れの予防方法】 ○万が一に備えて定期的にバックアップをとっておくことが大切。

水濡れの対処はパソコン修理店に任せるのがベスト！



赤い羽根 かながわ じんかれんニュースは、神奈川県共同募金会の助成を受けて編集・発行しています。この機関紙を通じて、精神障害保健福祉の向上に努めて参ります。募金にご協力頂いた皆さまに感謝申し上げます。